



DRAGON76氏が描いたプロジェクト第一弾から始まった



八千代を アートの発信拠点に

マルハン東日本カンパ

ニーの新たな挑戦

千葉県八千代市では、アートの力で街を元気にさせる地域活性化プロジェクト「八千代アートプロジェクト」が展開されている。現在の主たる情報発信源は複合施設「ism緑が丘」。その外壁には、思わず足を止めて見上げたくなる巨大壁画が描かれている。



プロジェクト第三弾で描かれたミューラル

八千代アートプロジェクトはマルハン、リレラ、のほか、地域の企業やされている。実行委員明治ゴルフセンターをた施設を営む「サンカ二氏。後援団体にはバ会、観光協会、社福協工会議所、教育スポー

続きはデジタルブックで
ご覧いただけます。

詳細はこちら▶

八千代だからできた

「成田さんとはL&A(レジャー&アミューズメント)事業部でつながりがありました。成田さんは映像クリエイティブプロデューサーでもあり、カプセルトイ販売も手掛けています。今回のプロジェクトでは、アーティストの選定・映像制作プロデュースなどにおいても采配を振るってくださいました」

「頭を抱える中、事業を通じて知り合ったAINEOS(東京都)の成田利樹会長から巨大壁画「ミューラル」を提案された。アートをを用いた地域活性化事例は、海外や日本国内でも話題になっていた。成田会長はハワイ発のストリートアートプロジェクト「JAPAN WALLS」が「POW! WOW! JAPAN in 沖縄」を開催した際、プロデューサーとしてプロジェクト全体を統括した実績があった。

どうすればism緑が丘の魅力を高められるか。遊技しない八千代市民にも楽しんでもらえて、街が元気になる施策は

「八千代緑が丘駅から見ると、北口にism、南口にイオンがあります。これを市民の認識に直すと、『北のトライアル、南のイオン』。市民がismから真つ先に連想することはテナントのディスカウントストアであり、マルハンやパチンコを想起する人は遊技されるお客様ぐらいのものでした。大型物件を所有していながら、十分に活用できていない。そこが出発点でした」

そんな八千代市でマルハン東日本カンパニーは新たな共創の挑戦を始めた。アートを起点に地域、アーティスト、企業が一体となる取り組みだ。総務法務部の浅野秀行チーフは、ism緑が丘の魅力

マルハンと八千代市の関わりは、ホールとism緑が丘以外にも、ディサイビスの「ラスベガス 八千代」(リレライフ)、「ルーケストサッカースクール」、「太平洋クラブ八千代コース」がある。これだけマルハングループが集中している自治体も珍しい。

千葉県の北西部に位置する八千代市は、20万人超が暮らすベッドタウンだ。市内に立地するパチンコ店は5軒。マルハン東日本カンパニーは、メガシティ八千代緑が丘(1194台)と八千代東店(482台)の2店舗を構える。